

浄土宗
撰取山
念佛寺 報

撰取

第 14 号

総代・住職で山の

視察5/22

寺山も数箇所ありながら住職もまだすべてを見たことありませんでした。

山田総代から山の世話を引き継いだ総代長の藤井さんの発案で、五月二十一日、山を見て回りました。藤井・大澤・渡邊・高島の各総代と住職の五人。

宝田から町裏にかけての峪田ノ奥く杉が谷では山歩きになれない住職は迷子にもなりかけていました。

間伐も行っていただいているが、山から木を出すと赤字に



なるというところで、そのままにされているところもありません。

このほか大熊上・桜谷・ホドサン・帰農谷など狭いところも含めて4箇所回りました。

総代さん、ご苦労様でした。住職が一番疲れたかも知れませんが

言葉

請仏随縁還本国

普散香華心送佛

願佛慈心遙護念

同生相勸尽須来

み仏様、縁にしたがって本国に



お帰りください。香をたき花を散らし、誠を尽くしてみ仏をお送り申し上げます。願わくはみ仏様、慈しみの心を持って遙かに私どもをお守りください。すでに浄土に生まれた人もお互いに勧めあって、私どもを御導き下さい。

Q&A

Q・包みはどつすればよいの？赤？黒？表記は？

お盆の棚経ではいろいろなお氣遣いありがとうございます。棚経は、先祖の霊がお盆の期間、私たち子孫の家に還るのを歓迎してお迎えする場所を清めるために行われます。葬儀とか法事では「御布施」で皆さん困ることはないのです。が、棚経のお礼は？

棚経では念佛寺の檀家と、幸町から旭町までは檀家外の御宅も今までの慣わしで廻らせていただいています。

A・不祝儀袋(白黒)に「御布施」「施主氏名」。

棚経でお経を上げてもらってよかったですと感じになれば「御布施」です。ただ、仏壇にお布施などを置く場合に「持ち帰ってください」の一言がないと持ち帰れませんのであしからず。

施餓鬼会の際は阿弥陀仏・先祖に「御仏前」あるいは諸精霊に供えるということで「御供料」でよいと思います。

お願い

前号のお願いの椅子(6千円)・履物棚(5万円)は本堂の備品とします。椅子は今の2つよりは座面の低いものを考えています。ご寄付いただける方は一口千円を添えてお申し下さい。受付9月5日まで。

編集後記

今回は、山の視察の件、棚経のご質問に答える形で作成しました。花の写真はキンランです。これは村内で撮影したものです。ひと月に2号は最良。